想創奏

そうそうそう

SOUSOUSOU

そうそうの杜の
想いを創って奏でる機関誌

2025年11月号
vol.63

発行人　荒川輝男
編集人　高石太樹
デザイン アリスラボ



すべての人がその人らしく生き生きと暮らせる地域と社会を目指して

最新活動情報

真頼理事の言葉、法人の各種イベントや新規事業の紹介…法人の様々な『想い』ある活動をご紹介

読み物

そうそうの杜の歴史、エッセイ、福祉必見の書籍、利用者インタビュー…さまざまな声が『創る』読み物

エンタメ企画

事業所めぐり漫画、そうそうの杜グルメ、クリエイティブ企画…そうそうの杜で『奏で』るエンタメ企画



CONTENTS

法人の活動

・20歳前後の若い人たちとかかわって感じたこと…真頼正施
・大阪・関西万博 ダンス出演…板見善子
・板かかしって、ワンダー。…北橋惇
・そうそうの杜ニュース…北橋惇

鴫野エリア

・近隣の方へのインタビュー…高石太樹

コラム・読み物

・これまで、これからのそうそうの杜…大竹寛輝、ミョートゥーラ
・福祉に携わる者なら…關宏之
・エッセイ…關宏之
・利用者の声…奥山修子

エンタメ

・そうそうの杜自慢のグルメ…赤山友邦
・漫画『おいもの国アリス』いま福の家紹介…北橋惇

お知らせ

・就労選択支援事業のお知らせ
・パソコンチーム アリスラボのお知らせ…北橋惇
・そうそうの杜トレーディングカードのお知らせ…北橋惇
・そうそうの杜メディアリスト
・そうそうの杜MAP
・ご寄付について、事業所一覧



理事

真頼 正施

Director's thoughts

What I felt when I worked with young people in their 20s

20歳前後の若い人たちとかかわって感じたこと

2024年の9月から、ご縁があって保育系の専門学校で「障害者福祉」を講義する機会を得た。6カ月間で15コマの体系であり、私自身にとっても非常に勉強になっていると実感している。今年度も後期日程が始まり、私自身は２年目を迎える。クラスは10名前後の少人数集団。資格取得等を目指す3年間コースの2年生である。初回はオリエンテーションとして、お互いの自己紹介や講義の進め方・評価方法について説明し、様々な質疑応答で終了した。入学して1年半が経過したクラスは、少人数の集団であるがゆえにお互い気心が知れた関係性ができているように感じた。生徒は皆20歳前後であり、50歳を超えた私には「若さ」「元気」「勢い」を感じさせられる時間でもある。

さて、その自己紹介の時間では私自身印象に残ることがあったので紹介する。それぞれが「自己紹介」「夏休み中の思い出」「なぜこの学校を選んだのか？」など自分のことを話し終わった後、話を聞いていた周囲から拍手が沸き起こっていた。特に何かを称賛するような拍手ではないが、ごく自然に拍手をすることが習慣付いているように感じた。研修に参加しグループワークで発表を行うと、あまり感情のこもっていない義務的な拍手を受けたり拍手することがある。穿った見方をすれば、今回のそれも似ているものなのかもしれない。「習慣」「儀礼的」「建前」ととらえることができるかもしれないが、今後の講義では本音で話し合えるような環境作りを心掛けることとしたい。

また、1年間ともに様々な講義を受けてきたクラスメイトではあるが、お互いにお互いのことをあまり知らないような様子が見て取れた。「えーそうなん？」「知らんかった」「初めて聞いた」という声が、それぞれの自己紹介で聞こえてくる。「そういう世代…今はみんなそう…」といえばそうなのかもしれないが、「他者への興味関心が薄い？」「必要以上に相手の領域に踏み込まないように配慮する」ということなのだろうか…もう少し知りたいという気持ちと少しの無関心の両方が混在し、人間関係の希薄さがマイナスではないことが当たり前になっているのかもしれないと感じた。インターネット、オンラインゲーム、スマートフォン、SNSなど彼らが生まれた時には既に存在しているものの影響があるのだろうといえばそうなのかもしれない。

最近、資料の編集に生成AIを使用することが増えてきた。膨大な量の資料を読み込ませ、こちらの要望通りに編集してくれることは非常にありがたい。しかし、耳ざわりの良い言葉に変換された文章には、事実と異なる内容であることもあり注意が必要と自戒する。先日、作成した資料には事実と異なる内容が記述されてしまい、修正作業が必要となり少々焦ることがあった。先の「儀礼的な拍手」や、「過度に相手に配慮すること」に通じるかもしれないが、「本当のこと」がわからないまま物事が進んでしまうことは思わぬ誤解を生じさせる。AI任せに作業させることは、相手を慮（おもんぱか）ることや深読みをすることに近いものであり、本当のことのわかりにくさはしばしばお互いに混乱を招いてしまうのである。生成AIも同様で、AIの想像？創造？（捏造）による人間の意図しない勝手な間違いを生み出すこともある。したがって、業務上AIに作業を託した際は、使用者による作業内容の確認が必要であり使用者の責任でもある。最終的には人間の目による確認が必要であり、「人」と「人」とのやり取りが大切であるということを、「人」にかかわることを仕事としている私たちは忘れてはならない…そんなことを感じている。



OSAKAから地域共生の未来をつくるプロジェクト ダンス出演

～大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ～

つむぎ館　板見 善子

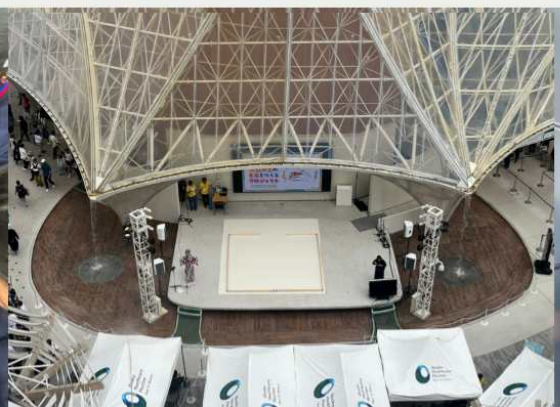
2024年10月「万博、ダンスね」と真頼理事から言われ、何言ってるんやろ？と疑いました。出演日は2025年9月14日。全4団体の参加でトータル約1時間の枠でした。長期の準備期間はあるものの、練習あるのみ。真央先生と選曲、人数が限定されるため今までのステージ参加者をメインに、普段のレッスンと段階を経て合同練習を始めました。しかし…3回の手拍子さえ揃わない、センター取り合い、万博までたどり着けるのかと不安でした。その反面、利用者は「また練習～」と言いながらも毎回集まり、1ヶ月後には手拍子が当たり前に揃うようになっていました。4団体が集まりリハーサルがあり、「もっと練習せなあかん！」とやる気が出た人もいました。

練習を重ね、夏休みに入り伝も合流しました。「やっぱりすごいなあ」と伝の子どもたちへのリスペクト、口には出さないけど皆の前に立ち真央先生の代わりになっていたリーダー、小さい体で人一倍大きくメリハリのある動きで魅せる人、振り付けよりも楽しんでいる姿を見せる人、最後に一番大きな声でまとめる人、とそれぞれの役割が少しずつ見えてきました。お互いを褒め合ったりライバル心が出てきたり、これぞグループの醍醐味！という場面が増えてきました。当日に向けて、舞台には出ないスタッフもヘアメイクにネイルにと裏方で盛り上げていました。家族の皆さんも、事前準備やこんな情報あるよ、こうしたら等ご提案くださり一緒に準備をしてくれて心強かったです。

当日、「2025！」と1年間万博を楽しみにしていた人が行方知れずで来ないというハプニングもありましたが、荒川理事長を先頭に歩いた大屋根リングは皆さん清々しい表情でした。「本当に水がある！」とリボーンステージを見て大はしゃぎ。待機場所での緊張とワクワク、舞台から降りてくる他法人のメンバーに拍手、ステージ前から皆がキラキラと素敵でした。どのステージよりも大きく堂々としたダンスに、日々のこと思い出して私はステージ上で泣きそうでした。楽しいことは楽しい、すごいものはすごい、好きなことは好き、皆でやり遂げるともっと面白い、それを目一杯表現する機会でした。

「ありがとう！大阪・関西万博！」（フィナーレでの最後の一言です。）







ITAKAKASHI ってWONDER。

創作の秋、板かかし選手権。
各事業所思い思いの傑作が勢揃い。

そうそうの杜の田んぼを守る
頼もしい板かかしたちです。





































Vol. 2

そうそうの杜の最新情報をお届けいたします

SOUSOUNews

2025 11 OCTOBER

イベント　今年も開催！ そうそうの杜大運動会

そうそうの杜全事業所と、藍訪問看護ステーション、ファーストステップのみなさんも加わっていただき、そうそうの杜大運動会を開催いたしました。今回は、同じ事業所の方でも別々のチームに色分けしたため、普段出会わない方と出会ったり、いつもの同僚と競い合う刺激的な大会になったと思います。それぞれが真剣に勝つことに向けて努力したことで、勝っても負けても悔いのない運動会になりました。この模様はそうそうの杜YouTubeでお届けする予定です。



今福グラウンドをお借りして、総勢300人での大運動会。天気にも恵まれ、心地よい1日となりました。



定番の運動会競技から、車椅子でも楽しめる競技まで盛りだくさん。ピカチュウによるダンスも！



優勝チームには豪華タオル！　西野さんと松下さんのデザインです。

新規事業　地域交流に　杜のいばしょがオープン

南鳴野商店街の中に、地域交流の憩いの場・杜のいばしょをオープンいたしました。地域に解放いたしますので、ご自由にご利用ください。



ウォーターサーバーや冷暖房完備



全自動麻雀卓、囲碁・将棋なども



健康なんでも相談も行っています

新規事業　スマホひとつで　メルカリ事業開始

本部パソコンチームでメルカリ事業も始めています。メルカリShops『そうそうの杜』です。

INTERVIEW

NO. 5

いつもお世話になっております／近隣の方へのインタビュー



アカバナカフェ
岩永リエさん

今回は、みなみ鴫野商店街にある店。二階へ誘う階段、木の扉、揺れるドライフラワー扉をあけると、ほっこりとした雰囲気に誘われる。「アカバナカフェ」を紹介します。「いらっしゃいませ」と、岩永リエさん（以後リエさん）の声。今日はそんな素敵な雰囲気をもつリエさんに高石がインタビューさせていただきました。

まず、店名の「アカバナカフェ」の由来を教えてください。

沖縄によく遊びに行ってた頃に沖縄の言葉で「ハイビスカス」を「アカバナー」と呼ぶのを聞いて響きが気に入りました。南国のゆったりとした時間の流れをイメージしてつけました。ゆったり居心地のいい場所にしたいという思いをこめました。

確かに「アカバナカフェ」はいつきても心が穏やかになりますね。内装は手づくりのものが多いと伺いましたが？

はい。壁や天井のペイントやベンチ、机、看板などを作ったり出来るところは全て自分たちで考えやりました。

メニューの料理やお菓子で大切にしていることは何ですか。

家族など大切な人に毎日食べさせたいような、栄養バランスや食材にこだわったメニューを考えています。
ランチは週替わりで2種類。スイーツやドリンクも季節のメニューをお出ししたり時期によりで内容が変わります。

たくさんの方が足を運んでくださった素敵なイベントだったんですね。この10年の間にお客様や地域の変化を感じられることも多かったのではないでしょうか。

お腹の中にいた子が小学生に、小学生だった子が大人になって自分のお金で来てくれるようになったりと成長をみせていただける事が本当に嬉しいです。一期一会、日々お客様から幸せをいただいています。

お客様とお店の時間の経過が重なりあっているという感じですね。ランチやカフェ以外の広がりも、この店の魅力の一つですね。

はい。オープン当初からコロナのパンデミックまでは春秋年2回のイベントを行ったりしていました。今はイベントの回数は減りましたが私たちスタッフやお友達の作家さんの作品販売やワークショップを行ったりもしています。クリスマスリースやしめ縄づくりのワークショップも毎年開催しています。人が集ったり交流できる場所になれたら嬉しいです。

リエさんがこれから挑戦したいことは何ですか。

旅行や食べることが大好きなので、これからも旅行で出会ったおいしいものを紹介したり喜んでいただけるメニュー作りをしていきたいです。『アカバナカフェ』がお客さまにとって時々行きたくなる、行けば安心して楽しい時間を過ごせる場所になれたら嬉しいです。

ありがとうございました。



アカバナカフェ

穏やかに流れる時間の中でまた来ようと思える「アカバナカフェ」は、南国の花のように鮮やかで優しい時間を届けてくれる場所でした。
みなさんのひと時の時間を過ごしてみて下さい。

定休日：日.月.祝
営業時間：11:30～16:00
城東区鴫野東3-3-3-2階

特集



これまでのそうそうの杜 これからのそうそうの杜

ベテランスタッフ、新人スタッフに、それぞれの目から見たそうそうの杜を語っていただき、多角的な視点からそうそうの杜の歴史を創る新企画です。



＼勤続13年／

大竹寛輝

profile

所属　あ・うん

好きなもの	りんご
行ってみたい場所	北海道
人生で一度はやってみたい事	南極に行く

ひとこと　がんばります。



＼勤続5年／

ミョートゥーラ

profile

所属　とことこっと

好きなもの	からあげ
行ってみたい場所	北海道
人生で一度はやってみたい事	たくさん稼いで多くの人たちに寄付をして助けたい

ひとこと　今は彼女とふたりでホテルの景色がきれいです。横浜より。

これまでのそうそうの杜



地域生活支援センターあ・うん　大竹 寛輝

そうそうの杜に入職して14年目になりました。時間の経過は早いもので、もう13年も経過したのか。と、入職時から自分が成長しているのかどうかも分からないまま口だけが達者になっているような気がします。

今回、あの頃のそうそうの杜というテーマで何か書いてほしいと言われ、思い返す機会となりました。私は現在、相談支援を担当していますが、入職した頃は生活面を支える部署、そこから就労支援を行う部署。ここでもそれぞれ特色の違う３つの就労支援事業所を経験させてもらいました。相談支援に異動して個人のケースを担当していく中で複数の利用者との別れもありました。その中には地域生活支援を行う場で最期まで看取りをできた方、病院で一人で亡くなった方、そうそうの杜の資源では難しくGHを探し、入居後しばらくして訃報の連絡があった方、まだ若くこれからというのに突然亡くなられた方。

いまだに時期が来ると、あの時こうしていれば…。こうしていなければ…。と、どこか考えてしまいます。しかし利用者とは苦い思い出だけでなく、楽しい思い出もたくさんありました。

今回はその中でも強烈な思い出のある東日本大震災のボランティア派遣について書こうと思います。というより、ここから自分の中のそうそうの杜は始まったと思っています。2011年３月11日、多くの人たちのいつもと変わらない日常が一変しました。

入職して2週間くらい経った時、突然理事長に呼ばれ震災ボランティアに行かないか？と言われました。泥運びなど何かできる事があればとその場で了承したのを覚えています。ボランティアは2週間、2人派遣されました。今ではあり得ない新人研修でしたが(笑)思い返せば、語弊はあるかもしれないが貴重な経験をさせてもらったと思っています。

当時は新幹線も飛行機も復旧しておらず深夜バスで大阪から仙台駅に行きました。テレビで見た光景を覚悟していましたが、到着した仙台はきれいな町並みで所々ガラスの割れた窓があるくらいで見た目にはスーツを着た会社員や学生が普通に歩いていました。安全靴に作業着の自分の姿が不自然なくらいに…。

仙台にあるボランティアの拠点となるＣＩＬたすけっとに入ると、我々と同様にNPO法人ゆめ風基金を通して全国から集まったボランティア達がそれぞれ得た情報を地図やホワイトボードに書き出す姿や机に乱雑に置かれた資料を見て初めて自分が被災地に来た。という感覚になりました。

主なボランティア内容は各避難所に行き障害者の有無の確認。ニーズを聞き取りその場で解決できることは解決(物品など)。できないものは持ち帰り検討を行う。というものでした。説明が終わるとすぐに調査の行っていない女川町に派遣されました。町に近づくにつれ景色も変わり、山を越えて女川町に入った途端、今でもどう表現していいか分からないほど、言葉を失いました。

ひとつひとつ避難所に行くも障害者はおらず、福祉避難所にも高齢者しかいないと言われ結果的に出会うことはできなかった。後で聞いた情報では障害者は大きな入所施設にいるか在宅の方がほとんどで、施設にそのままいるか、親戚家族のもとに避難している人が多いとの事であった。その中でも障害の有無に関わらず足りない物品を届けたり、自衛隊のお風呂が入りにくいので一緒に入ったりとその場の判断で動くことが多かった。厳密にはそれくらいの事しかできる事がなかった。

2週間が過ぎ、私のボランティア派遣は終了しましたが以降も法人として約3年間、希望者が交代で現地に行きました。その出会いの中から現地の人が児童デイを立ち上げることになり、その手伝いを法人で行うことになっていった。

今でもそうそうの杜は制度やサービスだけにとらわれた支援や活動だけでなく、必要性があることは制度関係なく地域社会の中で行っている。それはボランティア派遣を一例にしたが自分が入職した13年前の「あの頃」から全く変わってはいない。

これからのそうそうの杜



とことこっと　ミョートゥーラ

私はミャンマー出身です。そうそうの杜で働き始めてから５年目になります。これまでの経験を通して、職場をもっと良くするために３つの大事なことをお伝えしたいと思います。

1. スタッフの健康と休みの配慮

利用者さんだけでなく、スタッフも年をとってきているため、健康管理や休む事が必要です。スタッフが健康であることは、利用者さんへのケアの質も良くなり、「そうそうの杜」の将来にとって大きなプラスとなります。

2. 外国人スタッフと日本人スタッフ間の協力

外国人スタッフがだんだん増えて来た為、日本人スタッフとの協力が重要になっています。お互いにリスペクトし合う事でチームワークが強くなり、会社のサービスの質良くなります。

3. むだなお金を減らす

お金をできるだけ使わないようにすることも大切です。たとえば、紙の使用を減らしてパソコンのソフトやデジタルツールを活用すれば小さな努力を続けることで、将来の安定につながり、会社の持ち続ける力が強くなります。

これは一人だけの意見なので、間違っているかもしれません。





關宏之

第4回『八木重吉』

福祉に携わる者なら

花がふってくるとおもう このてのひらにうけとろうとおもう

「福祉に携わる者なら」として、お薦めする書籍や映画を紹介してきました。今回は、いつか紹介した下村湖人著「次郎物語」の対極にある「八木重吉詩集」を紹介します。対極にあるというのは、「次郎物語」が「前へ！」と歩む勇気や気構えや手立てを与えてくれる書だとすれば、紹介する「八木重吉詩集」は、「少し休んだら！」と休息を促し、この炎天下で日よけとなってくれる木陰のような一冊です。

八木重吉は、生れは東京府南多摩郡堺村（現東京都町田市）で、29年（1898-1927）の生涯でした。たまに愛読書として挙げる人もあり、知る人ぞ知る詩集で、よく知られているのが、生前に編まれた「秋の瞳」と没後の「貧しき信徒」があります。
代表的な2冊の本を紹介します。「八木重吉詩集（現代詩文庫）」（1988年7月第1刷思潮社現代詩文庫1031 最新重版2024年9月1,870円），「八木重吉詩集（岩波書店：岩波文庫）」（2025年2月再販、1,155円）、弥生書房の初版本を含め多くの詩集は古本でも入手できます。

東京都町田市在住で、わが国の職業リハビリテーションの立役者で、知的障害のある人の就労支援の先駆となった「職業と社会参加セミナー」、保護者や実践者によるサンフレンドの会、全日本手をつなぐ育成会の専務理事、などとして数々のお世話になった手塚先生から、数年前に「郷（さと）を愉（たの）しむ」という自費出版の本を送って頂きました。「たまにはあなたも“しっとり”とした気分を愉しみなさい。」という栞がはさんでありました。
先生は、今は公務を離れられ、住んでいる町田への愛をいかんなく発揮されており、町田の偉人「白洲次郎・白洲正子」や「八木重吉」について研究されており、とりわけ八木重吉に関しては方々に出かけ、資料を収集され、詳しく解説されています。

書籍のお礼の電話に、「あなたも彼の詩集を読んではどうですか、優しい気持ちになれま すよ！」と仰いました。「彼のことはよく存じています！」と応えたのですが、語調はきつかったと思います。師に対する言葉としては適切ではなかったかも知れないのですが、私も八木重吉に対する思い入れはあるのです。

私が大学に入学したのは1964年のことで前回の東京オリンピックの年です。所属学科は大学院生や4年生との交流が盛んで、関西弁や皆の言動にかなり戸惑ったものです。ゼミを決めるためのオリエンテーションは4年生の担当でした。その折に髪の長いすらっとした先輩から「八木重吉の詩を読む会に参加しない？」と誘われました。哲学書などの講読会もあったのですが誘われるままに参加しました。しかし、みなさんが紋切り型のきれいごとの賛辞を並べるだけで、通り一遍の詩評を聞くのはあまり居心地のいいものではありませんでした。先輩から「君はどんな風に読んだの？」と問われて、「所在なげにとぼとぼと歩いていて、石ころにつまづいてはっと我に返った時のような気分です。」と答えたところ、あちこちから軽蔑の失笑がもれてきました。これを機に、読書会には参加しなくなったのですが、詩集は手元に残り、よく読みました。

彼は1921年（大正10年）に、東京高等師範学校を卒業した後　御影師範学校（現神戸大学）の英語教師として赴任し、葺合に住んでいたそうです。大学は神戸に近く、神戸出身の学生も多く、彼への親しみもあったのでしょう。彼は、英語教師としては苦労の連続でしたが、神戸の海と山々は彼の詩作への意欲をかりたてたようです。

この仕事をしていると、時折「やさしさごっこ」に慣れきっていないか、善意を押し付けてはいないか、自己満足に浸ってはいないかなど、何のためにこの仕事を選んだのかが曖昧になり、うまくさばいたつもりでも次から次へと“もぐら”が顔を出し、落ち着かない時があります。
私がこんな時にひも解いたのが「八木重吉詩集」でした。穏やかな文言に促されて再び現場に向かうことができました。

詩集『秋の瞳』（1925年）は、千葉県の中学校に転任した26歳のときに刊行した第一詩集で、彼の詩人としての出発点を示す作品です。好きな詩をいくつか紹介します。

『素朴な琴』
この明るさのなかへ
ひとつの素朴な琴をおけば
秋の美くしさに耐えかね
琴はしずかに鳴りいだすだろう

『秋のかなしみ』
わがこころ
そこの　そこより
わらいたき
あきの　かなしみ

『心よ』
こころよ
では　いっておいで
しかし
また　もどっておいでね
やっぱり
ここが　いいのだに

詩集『貧しき信徒』は、彼が結核により病床で編んだ第二詩集で、死の前年に完成され、結核で29歳で生涯を終えた後の1928年に刊行されました。

『涙』
つまらないから
あかるい陽のなかにたってなみだを
ながしていた

『私』
ながいこと病んでいて
ふと非常に気持がよいので
人の見てないとこでふざけてみた

『木』
はっきりと
もう秋だなとおもうころは
色色なものが好きになってくる
あかるい日なぞ
大きな木のそばへ行っていたいきがする

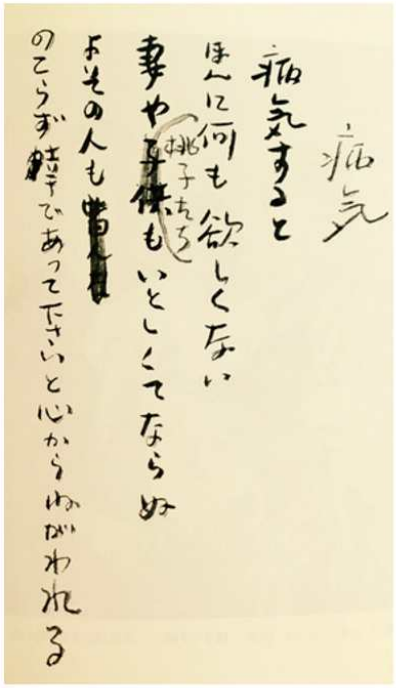
『この親をみよ』
怒りもせぬ　この親をみよ
おまえに　お父さんの命がいるときがあったら
いつでも　あげる

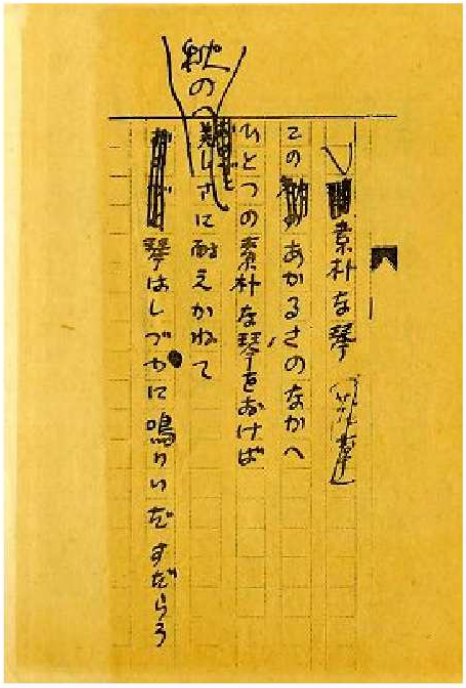
「一息つきたいな！」「きついなー！」と思ったときに尋ねてみて下さい。

八木重吉（1898-1927）



人物と作品の魅力は關先生の書かれる通り。第1作『秋の瞳』は、手書きの画用紙を妻がリボンで綴じて作られた。第1作は哲学的な詩も多いが、病床につくにつれ、言葉が削ぎ落とされていき、遺作『貧しき信徒』は人間の思いの原液が込められたような詩作である。妻・とみは、八木重吉を結核で看取った後、ふたりの子どもを育てるが、どちらも結核で亡くなっている。とみは失意の中、重吉の詩を救いとし、いつか世間に発表することを夢見て、空襲では防空壕にも詩だけを持って避難した。とみの念願叶い、重吉の詩は出版社より刊行されることとなる。重吉の死から21年後のことであった。以下は現存する重吉の実際の原稿である。（北橋）


病気すること
ほんに何も欲しくない
妻や子供もいとしくてならぬ
よその人も
のこらず
病気であって下さいと心からねがわれる


素朴な琴
この明るさのなかへ
ひとつの素朴な琴をおけば
秋の美しさに耐えかねて
琴はしずかに鳴りいだすだろう


けしきが
あかるくなってきた
母をおもう
母をつれて
てくてくあるきたくなった
母はきっと
重吉よといとしむ
はなしかけるだろう

エッセイ

關 宏之

01 遺された苗

宮崎の民謡「切干刈歌(きりぼしかりうた)」は、「ここの山の　刈干しゃ　すんだヨー　明日はたんぼで　稲刈ろかヨー」と歌います。歌詞の内容は、「山の荒地のススキや茅を刈り取る作業が終ったから、明日は田んぼで稲を刈ろうや」というもので、刈ったススキや茅は、家の普請に使ったり家畜の餌にしたそうです。哀愁に満ちたこの歌は、「サントリーウイスキー角瓶」のCM（調べてみたら1974年のこと）で、津軽地方に伝わる雁風呂の民話と合体して新たな輝きを放ちました。

津軽の民話はこうです。『雁は、北国から渡ってくるとき、口に枝をくわえて飛び、疲れるとその枝を海に浮かべて羽を休め、津軽の浜に着くと枝を浜辺に落としてさらに南へ向かう。春になると南から再び津軽に戻り、自分の枝を拾って北へ帰る。しかし、浜辺には枝が残されることがある。残された枝の数だけ命を落とした雁がいるということだ。津軽の人たちはその枝を集めて風呂を焚き「雁風呂」と称して雁の供養をする。』

CMでは、夕暮れの浜辺で焚き火を囲みながらウイスキーのお湯割りを飲む男を映しながら雁にまつわる民話のナレーションに「切干刈歌」の尺八の音をかぶせ、男の「哀れな話だなぁ。日本人て不思議なんだなぁー」という決め台詞で終わります。雁への愛おしさと「切干刈歌」の哀愁に満ちた響きはそのまま日本の原風景を映し出しているようです。

前置きが長くなりました。その昔宮崎には数回お邪魔し、知人から正調「切干刈歌」のテープを頂いたこともありますが、肝心の高千穂地方の神々を巡ったことがなく、カミさんと3泊4日の旅に行きました。多くの史跡を巡り、堪能して宿に帰って夕食を食べ、宿の人の勧める宮崎が誇るデザート「完熟きんかん たまたまエクセレント」を食しました。たかだか“きんかん”と思いきや、爽やかな酸味と濃厚な甘みがあってこれがうまいのなんの。行った先々でこれでもかと貪るように食べました。

本誌VOL57号で「老いた兄さんと妹さんともみじの三千院」の話を書きました。兄さんの足立さんは、昨年の秋ごろに体調を崩し、朝の散歩も四葉のクローバーの採取も好きな囲碁も自粛され、風呂も調子のいい時だけになり、自宅に籠ることが多くなり、三日おきににぎやかしとして部屋を訪れていました。

食欲のない彼のために、空港で極上の“エクセレントきんかん”を購入し、持参したら、初めは、「きんかん」かい、という程度の反応でしたが、次に訪問した時に、病身に優しく美味しかったので種を植えた、と喜んでおられました。

今年になって緩和ケア病院に入院されることになり、芽が出たばかりの“きんかん”の苗を預かりました。足立さんは、枝の代わりに“きんかん”の苗を遺されたのです。

苗はまだ地植えには早く、その時まで、朝に夕に足立さんを偲んで水遣りをするのが私なりのご供養となっています。



エッセイ

02

關 宏之

私のシンボル・ツリー：ケヤキの木

昨夜は、突然の雷鳴・閃光・豪雨に見舞われて大地に雨水が染み、私の心も潤いました。海水温の上昇による気候変動が、何日も続く炎天下や線状降水帯による風水害をもたらし、農作物や捕獲される魚種を変えているという解説があり、熱中症への警告や災害への備えを聞きながら、「例年のようでいいのです、どうか鎮まってください。」と願うのは私だけではないでしょう。

家の前の天神川は、普段はカラカラでも、昨夜のような豪雨になると鉄砲水になって氾濫したという危険な川です。それに備えて土手を高くしてきたために、付近の家々は堤防の下の方にあります。最近も下流の堤防が決壊し被害がありました。伊丹市まで延々と続く堤防の土手は、桜並木や庭木が植わり、周りには古い神社やバラ公園やスポーツセンターもあって、犬の散歩やランニングなど市民の憩いの場でもあります。

私はといえば、5時ごろに起床して朝の儀式を済ませ、６時ぐらいには散歩に出かけ、ガーデンの水遣りをするのが日課です。しかし、目が覚めて雨でも降ってれば「いかなくてもいいぞ！」と喜ぶほどの怠け者です。大体3キロほどのコースを30分ほどかけて回るのですが、皆さんはよたよたと歩いている私をすいすいと追い抜いていかれます。

私の散歩の目的は、写真のケヤキの木に会うことです。対岸のベンチに座って行きかう方々を遠目で見ながら10分ほど過ごします。背後のカイズカイブキが夏の日差しを遮ってくれて、暑い日でもやさしい風がそよそよと渡ります。1961年に大きな水害があり、堤防が改修されたという記録がありますが、このケヤキはその時に植えられたと勝手に推測しています。そうであれば、60年ほどの歳月をここで過ごし、決まって、春には新芽を芽吹かせて鈴なりの小鳥の宿となり、夏には緑の葉を茂らせて蝉の集会所となり、秋には、黄色い葉っぱを黄金色に染め、葉を落として枝の先に司令官モズたちの展望台となる冬を迎えてきました。

ずっと前からケヤキはケヤキとしてこの営みを繰り返し、日照りの時もあり、大風に襲われたり、時には水害の危機もあっただろうに、これからもずっとそうだろうな、と思いつつも、「あんたはどうよ！」とケヤキに問うてもみます。

ベンチで、「どうして犬と飼い主の顔が似ているんだろうか？」などと他愛もないことを考えていると、顔見知りになった方々が通過されて行かれます。2匹の柴犬を連れた笑みの素敵な方、近くの教会の玄関を開けて出てこられるあいさつの言葉尻がながーい人、無理をしないでくださいねと言いながら猛スピードで去っていく癒し系の人、下向き加減で小さな声で挨拶を交わすシャイな方と挨拶を交わします。

ケヤキの前で今日もいつもと同じ一日がスタートします。



利用者の声

No.3



奥山修子
いま福の家

いま福の家では毎日ネジを袋につめる作業をしています。
トランプして遊んでいるよりこっちの方が好きです。

奥山修子です。

いま福の家に通っています。その前はつむぎ館に通ってました。いま福の家では毎日ネジを袋につめる作業をしています。トランプして遊んでいるよりこっちの方が好きです。エアロバイクも毎日こいでいます。エアロバイクをこいでいると楽しい気持ちになって歌いながらこいでいます。

いま福の家では作業とお風呂とお三時の時間が楽しみです。お風呂では久保さんが頭と背中と足を洗ってくれます。後は自分で洗っています。お三時はおにぎりせんべいが大好きです。

好きな食べ物は、すいか、御座候の回転焼き。豚まん。京子ちゃんのごはん。パリパリ麺に餡かけしたのがめちゃくちゃおいしいです。御座候はおっちゃんがお土産に買ってきてくれます。

家ではゆっくりテレビを観ています。好きなテレビは藤田まことの刑事もん。日曜日はちびまる子ちゃんとサザエさんです。

木曜日にいま福の家でお風呂に入るので火曜日に準備をします。土日はひらがなのお勉強をしています。自分の名前を書く練習しています。

好きな歌手は山本譲二、鳥羽一郎。カラオケは石川さゆりちゃんの津軽海峡冬景色を歌います。

これからもいま福の家でネジのお仕事をがんばります。いつまでも元気でおりたいです。

いま福の家　生活介護 共生型 介護予防型

ゆっくりと流れる時間の中で、それぞれがいきいきと余生を過ごしていくことができる事業所です。

杜のShokudo

そうそうの杜
自慢のグルメ 4

POINT 発酵食がふんだんに食べられるビュッフェレストラン

お腹すいたな、今から何食べようか。

そんな時におすすめしたいビュッフェ「杜のshokudo」。

体に良い食材ばかりを使用した食事。
店内の雰囲気もよく食事をしながら楽しめる環境です。
1人や友人、ご家族とも一緒にお食事してください。

自分の食べたいものを好きなだけ盛り付けるビュッフェ方式。
サバの塩麹焼きや米粉ブリトーなど普段あまり見かけないご飯も食べられるようなお店です。
カレーや焼きそばもあり、ご飯が進むメニューばかりです。

ビュッフェだけでなくお弁当販売販売も。

おすすめは周りでもよく聞く唐揚げ弁当。
空腹を満たす一品。役所内での販売もしております。

お昼休憩したあとも当店のカフェへ。
パンナコッタやチーズケーキ、梅ゼリーにガトーショコラ等、食後のデザートやカフェタイムにもってこいです。
チーズケーキがめちゃくちゃ美味しい。

いつ来ても美味しかったまた行きたい、お腹すいたから杜のshokudo行ってみよ。
デザート食べたいな、ゆっくりしたいな、そう思って頂ける気軽に行けるご飯屋さん。

お客様が笑顔で来店して笑顔で帰られる、そう思って頂けるメニューをたくさん取り揃えておりますのでお客様のご来店を心よりお待ちしております。

文章・赤山友邦



事業所紹介漫画シリーズ

いも福の家

生活介護&介護予防 共生型
18歳から利用可能

うとうと

おいもの国のアリス
Alice in Potatoland

なんか寝てない？

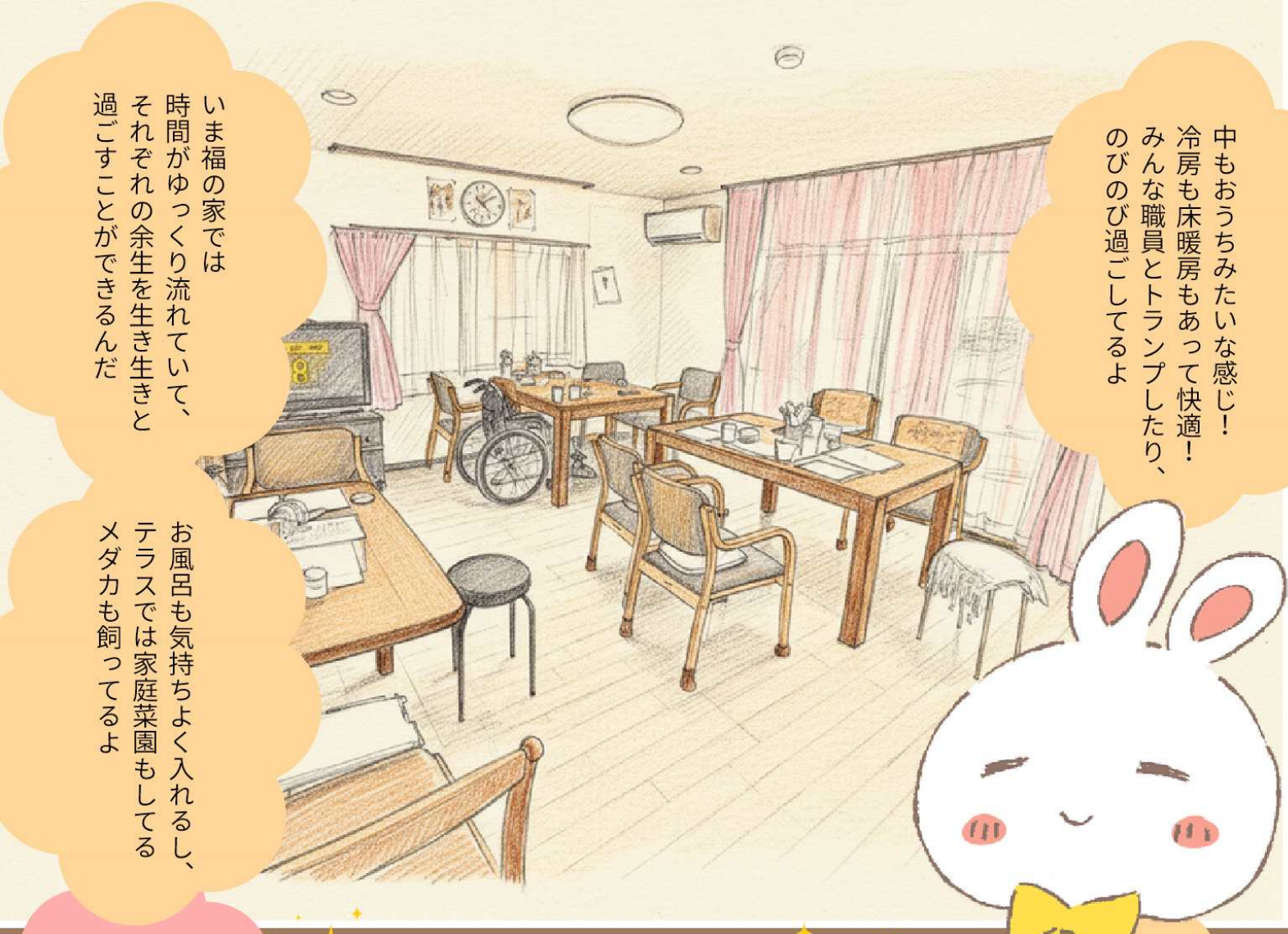
あっ、アリス！

テラスのひなたぼっこが
気持ちよすぎて
うとうとしちゃった！
ここはゴロゴロOKだから！

えっ、そんな
事業所があるの？

いま福の家はね、
自宅にいるような
安心感で過ごせる
事業所なんだあ

ほんとに自宅みたい！
ふつうの一軒家なんだね



中もおうちみたいな感じ！
冷房も床暖房もあって快適！
みんな職員とトランプしたり、
のびのび過ごしてるよ

いま福の家では
時間がゆっくり流れていて、
それぞれの余生を生き生きと
過ごすことができるんだ

お風呂も気持ちよく入れるし、
テラスでは家庭菜園もしてる
メダカも飼ってるよ



もちろんご飯は
美味しすぎる
杜のshokudoの
ごはんだよ！

えー！
こんなごはん
毎日
食べられるの！



ちなみに仕事が
あったほうが
メリハリが…と
いう方に軽作業も
用意してるよ！

杜のshokudoや
他の事業所と
つながってるから、
なんでも用意
できるんだ…
わたしも
行こうかな？

アリスも
おばあちゃんに
なったらね！
テラスで
おいも育てよう！

令和7年10月より
そうそうの杜が
就労選択支援を
始めました。





就労選択支援とは

就労先や働き方について、あなたの希望や適正に合った
よりよい選択ができるよう支援するサービスです。

具体的な内容

①作業場面等を活用した状況把握　②多機関連携によるケース会議
③アセスメントシートの作成　④事業者等との連絡調整　⑤さまざまな情報提供

働くことへのお悩み



自分に合っている仕事、自分の
適正ってなんだろう…

就労選択のサポート



希望を聞き取りして整理します。
適正を明らかにしていきます。
一緒に考えて見通しを立てます。

具体的な行動案



評価結果を本人に提供します。

利用申請・契約等 → 就労選択支援利用（1ヶ月） → 今後の方針を決めるための支援

就労選択支援の対象者

サービス類型	新たに利用する意向がある障害者	すでに利用しており、支給決定の更新の意向がある利用者
就労継続支援Ｂ型	令和7年10月から原則利用※	希望に応じて利用
就労継続支援Ａ型	令和9年4月から原則利用	
就労移行支援	希望に応じて利用	令和9年4月から原則利用 標準利用期間を超えて更新を希望する者

※就労継続支援Ｂ型のうち、50歳に達している者又は障害基礎年金1級受給者・就労経験ありの者（就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難になった者）は希望に応じて利用

就労選択支援事業 望（のぞむ） 電話：06-6180-6820　FAX：06-6180-6820



まだ知らない、自分の無限の可能性をパソコンで広げよう。

絵を描きたい。本を出版してみたい。配信者になりたい。動画編集をしてみたい。ゲームを作ってみたい。やってみたいこと、そうそうの杜のパソコンチームで挑戦しませんか？　一度あきらめた夢でもぜひご相談を。あなたの夢を教えてくれるのを待っています。

担当・北橋

そうそうの杜トレカ 第1弾　ラジオ体操限定パック

フォレスト・パラディン

森の聖騎士

ソウソウの国に
危機が訪れた時――

太陽王と
聖騎士たちが
立ち上がる――









全4種

アリスラボ制作、そうそうの杜トレカ第1弾です。
福岡県で大成功したまちおこし企画「地域のおじさんトレカ」を鳴野で作るにあたり、そうそうの杜でテスト運用しています。現在、ラジオ体操の景品として配布中です。

企画
城東地域共生協議会

制作
ALICE LAB.
アリスラボ

そうそうの杜メディアリスト

YouTube



1 關宏之『福祉の本質』

柔らかな切り口で福祉の本質に迫る、そうそうの杜相談役關先生の福祉講座



2 多田康秀のプロ野球速報

野球をこよなく愛する多田康秀が、プロ野球ニュースを熱く語り尽くします



3 Prife SMILE TV

利用者発信！ Prifeにまつわるさまざまな動画を配信するチャンネルです



4 もりのひより

そうそうの杜初のVTuber！商品紹介からイベントレポートやおもしろ企画まで！

Instagram



1 Kawasemi



2 杜のShokudo



3



4 おいもの国のアリス Alice in Potateland



5 杜のこうさてん



6 そうそうの杜(インスタ)



7 そうそうの杜(X)



8 鴫野活性化プロジェクト

Online



1 Amazon電子書籍

そうそうの杜出版部から、絵本やエッセイなど珠玉の作品がAmazonKindleで発売中



2 今中さんLINEスタンプ

LINEスタンプ好評発売中！「ビンちゃんスタンプ(挨拶)」で検索してね！



3 中島さんLINEスタンプ

LINEスタンプ好評発売中！「目を閉じて、夢を開け」で検索してね！

そうそうの杜は

税額控除対象法人です

ご寄付で控除を受けることができます

メリットの大きい方をご選択ください

税額控除 小口の寄付に減税効果

所得金額にかかわらず小口の寄付にも減税効果
（寄付金額 − 2,000円） × 40%（定率） ⇒ 減税額

例…5万円のご寄付
（50,000円 − 2,000円） × 40% ＝ 19,200円
（但し、所得税額の25%が限度）

所得控除 大口寄付に減税効果

所得金額と寄付金額が多いほど大きな減税効果
（寄付金額 − 2,000円） × 所得税率（5〜45%） ⇒ 減税額

例…5万円のご寄付（課税所得金額が500万円の場合）
（50,000円 − 2,000円） × 20% ＝ 9,600円（但し、寄付金額は年間所得金額の40%が限度）

2025/1〜2025/6 ご支援いただいた方（敬称略）/ 機関誌をお送りいたします。

国本 光子、進藤 久子、永島 健一、今井 力、池田 勉、金子 公子、倉川 俊介、竹林 秀規、
竹中 康豊、外川 鉄治、中島 伸治、森 貴宏、倉川 俊介、藤井 智恵美、吉田 昭子、
中村 忠行、倉川 俊介、西 恵子、倉川 俊介、井上 幸一

当法人の理念や事業、目的に賛同される方、
事業活動へのご支援をいただける方に寄付をお願いしています。

寄付の手順

銀行振込

下記までお振込ください。
ゆうちょ銀行
口座番号
00940−5−185986
振込先（加入名）
社会福祉法人　そうそうの杜

物品寄付のお願い

利用者さんの作業にするため、
ご不要なものがございましたら
ご寄付をお願いいたします。



探しています

ご支援、ご寄付いただき心より感謝申し上げます。


そうそうの杜
MAP
城東区役所
3
とことこっと
Kawasemi
城東警察署
POLICE
地下鉄蒲生四丁目駅
N
聖賢小学校
10
いま福の家
今福小学校
城陽中学校
地下鉄鴫野駅
1番出口
18
はやぶさ
テラス
8
伝 / 庵
JR鴫野駅
P
コノミヤ
セブンイレブン
6
つむぎ館
望
鴫野小学校
王将
13
Lian
2
就ポツ
1
本部
杜のShokudo
心
5
座座
城東小学校
17
だがしや
15
ざっかや
11
添
14
アリス
16
いばしょ
南しぎの商店街
今里筋
9
げんげん
7
創奏
12
こうさてん
城東消防署
4
Prife
ジャパン
地下鉄緑橋駅

1 法人本部

本部としてすべての支援の発信点となっています。利用者さんたちが笑顔で立ち寄る場所です。

1 杜のShokudo

就労継続支援Ｂ型

発酵食ビュッフェとして調理では一人一品以上作っていただくことを目標とし、商店街のサテライト等、多角的な事業を展開しています。

1 心

自立訓練

日常生活のスキルのみならず、支援学校から事業所につなげていくための支援を行っています。

2 地域生活支援センターあ・うん

相談支援事業

仕事に関すること、生活に関すること、障害福祉サービスに関すること等々、各種相談を受け付けています。

2 大阪市障がい者就業・生活支援センター(北部地域センター)

あなたと企業を結びます。就職に関する総合的な支援を行っています。
※大阪市の機関になります。

3 とことこっと

居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・訪問介護

生活の安心を支えています。

3 発酵薬膳&cafe kawasemi

就労継続支援A型

発達障害がある人の就労の場として、１日7時間の労働・最低賃金・社会保険等を保証、経済的な自立と働き甲斐のある職場を目指しています。

4 Prife

就労継続支援Ｂ型/移行/定着

就労にまつわる様々な支援を行っており、B型としての事業とともに、移行定着として一般就労を支援しております。

5 座座

就労継続支援Ｂ型

自閉症の方が多く利用されている作業所です。それぞれの特性や能力に応じた生産活動や社会活動に取り組んでいます。

6 つむぎ館

就労継続支援Ｂ型

にぎやかで家庭的な雰囲気の中にも、仕事場としての意識を持ち作業に取り組んでいます。生活をより豊かにしていくための活動の場として機能しています。

6 望(のぞむ)

就労選択支援

就労先や働き方について、あなたの希望や適正に合ったよりよい選択ができるよう支援するサービスです。

7 創奏

生活介護

幅広い年齢層の人が利用されています。その人の利用目的に合わせて相談し合いながら一緒に決めていきます。

8 庵

生活介護

リフト浴が出来る機械浴と一般浴と大小２つ入浴できる風呂があり、個々人にあわせた様々な入浴に対応できます。

8 伝

児童発達支援・放課後等デイサービス

感情を育てる療育を中心として、子どもが自分で考え、気付いて行動が出来るような関係性の向上を目指しています。

9 げんげん

生活介護

利用者のみなさんが、積極的に地域と関わる事や、創作活動、散歩、ゲームなどの遊びを通して「今日一日楽しかった」と感じてもらえるよう取り組んでいます。

10 いま福の家

生活介護・共生型通所介護・
共生型介護予防型通所サービス

民家であるため自宅のような安心感が得られます。障害者支援のノウハウに基づき、いきいきと過ごせる家庭的な支援と美味しい食事を提供できることが特徴です。

11 添

短期入所

個室。ショートステイは、家族の入院、グループホームや一人暮らしなどの地域生活への移行のための練習など、各々の目標に沿って支援しています。

12 杜のこうさてん

子育て支援事業

就学前の子どもを持つお母さんたちの居場所として、乳幼児から幼児までの憩いの場所であり、育児中の交流拠点となっています。

13 Lianの杜

手作りのパン、スイーツを販売しています。製菓、店頭販売に従事していただいています。

14 おいもの国のアリス

おいもを使った美味しいスイーツの製造販売しているかわいいお店です。

15 杜のざっかやさん

おいもを使った美味しいスイーツの製造販売しているかわいいお店です。

16 杜のいばしょ

地域交流

地域の方が交流する場所として、さまざまな試みを行いながら、困りごとの相談含め、地域の多面的なサポートを行っています。

17 だがしやさん

商店街のだがしやさんという安心して過ごせる環境の中で、店頭業務をしていただいています。

18 はやぶさてらす

医療対応が必要な方に、24時間体制での看護をもとに、病院ではなく自宅に帰って生活できるよう支援しています。

- 地域生活サポート事業

ひとりひとりがその人に必要な支援を受けながら暮らしています。そこから、就職先や事業所に通っている人がいます。

社会福祉法人そうそうの杜



法人本部
城東区鴫野東3-2-26
Tel/06-6965-7171
Fax/06-6167-2622



地域生活支援センターあ・うん
相談支援事業
城東区鴫野東3-2-28
Tel/06-6969-8123
Fax/06-6167-2622



北部地域センター（大阪市障がい者就業・生活支援センター）
城東区鴫野東3-2-28
Tel/06-6955-9921
Fax/06-6167-2622



とことこっと
居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・訪問介護
城東区中央1-6-29 2F
Tel/06-6167-7530
Fax/06-6955-8826



Prife
就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援
城東区東中浜2-2-19
Tel/06-6923-8959



座座
就労継続支援B型
城東区鴫野東3-2-12
Tel/06-4258-6013



つむぎ館
就労継続支援B型
城東区鴫野西5-13-6
Tel/06-6180-6820



Kawasemi
就労継続支援A型
城東区中央1-6-29
Tel/06-6935-1111
Fax/06-6935-1911



杜のShokudo
就労継続支援Ｂ型
城東区鴫野東3-2-26
Tel/06-6955-8080
Fax/06-6167-2622



創奏
生活介護
城東区鴫野東3-3-1
Tel/06-6923-8929



庵
生活介護
城東区鴫野東2-26-18
びんの郷 1F
Tel/06-6958-4745



伝
児童発達支援・放課後等デイサービス
城東区鴫野東2-26-18 びんの郷 2F
Tel/06-6958-4746



げんげん
生活介護
城東区鴫野東3-18-5
Tel/06-6180-9670



いま福の家
生活介護・共生型通所介護・共生型介護予防型通所サービス
城東区今福南4-15-33
Tel/06-6180-7399



心
自立訓練
城東区鴫野東3-2-26
Tel/06-6965-7171
Fax/06-6167-2622



添
短期入所
城東区鴫野東3-2-5
Tel/06-6167-5395



杜のこうさてん
大阪市つどいの広場事業
城東区鴫野東3-3-3
Tel・Fax/06-6961-5505



はやぶさてらす
城東区
Tel・Fax/



望（のぞむ）
就労選択支援事業
城東区鴫野西5-13-6
Tel・Fax/06-6180-6820

鴫野商店街内 サテライト



Lianの杜



おいもの国のアリス



杜のざっかやさん



杜のいばしょ



だがしやさん

鴫野商店街に地域の憩いの場所・杜のいばしょができました。冷暖房とウォーターサーバー完備、利用自由です。

